

Ⅲ. 監視指導計画および実績の概要

※計画は明朝体、実績はゴシック体で示す。

第1. 実施に関する基本的事項

- 1 関係法令に基づく監視指導
- 2 安全で衛生的な食肉を供給するための検査
- 3 関係業者および団体への自主衛生管理の促進
- 4 関係者への情報提供と意見交換

第2. 監視指導の実施体制等に関する事項

(1) 一般的監視指導事項 (年間を通じて実施)

- ① 施設の構造、設備等に関する監視指導
関係法令(または条例)に定める構造設備基準についての監視指導
- ② 施設等の衛生保持に関する指導事項
と畜場法施行規則に定めると畜業者等が講ずる措置が遵守されるよう監視指導
部分肉加工施設を一般的監視指導項目を中心に監視指導

【実績】

- ・ 年間を通じてと畜場の施設および設備の衛生点検を行った。

(2) 重点監視事項 (実施時期を定めて実施)

- ① 衛生標準作業手順書に基づく処理の監視
【実施時期：平成26年4月～平成27年3月】
 - ・ 現場における点検および記録の確認を実施
不適切な事項がある場合は改善を指導
 - ・ 必要に応じ、各工程毎の衛生管理責任者等との衛生向上のための意見交換会を実施

【実績】

- ・ 年間を通して衛生標準作業手順書(SSOP)に基づく作業の実施状況の確認、指導を行った
- ・ (公財)滋賀食肉公社、(株)滋賀食肉市場、滋賀県副生物協同組合との食肉の衛生管理および安全に関する意見交換会を実施した

- ② と畜場で実施されるHACCPシステムへの助言
(ア) HACCP推進委員会に対する助言

(イ) HACCP プランの外部検証の実施

(ウ) 枝肉の衛生的な取扱いの指導

- ・ 洗浄前の枝肉の消化管内容物等の付着の有無の確認および適正処理の指導
- ・ 食肉衛生検査終了後の枝肉について、処理日ごとに獣毛残存等の確認および適正処理の指導

(エ) 食肉の安全性を判断するための微生物等の検査

- ・ 病原微生物の削減を達成するため、枝肉のふき取りによるサルモネラ検査を実施

【実績】

- ・ 滋賀食肉センター管理運営会議への参加
- ・ HACCP 推進委員会（HACCP チームと略称する）で、アドバイザーとして指導・助言を行った
- ・ 滋賀食肉センターHACCP プランの外部検証を行った
- ・ (株) 滋賀食肉市場に対して、衛生標準作業手順書（SSOP）の改正への指導、助言を行った
- ・ 牛の解体処理作業が衛生的にとり行われているか検証するために、洗浄前の枝肉の消化管内容物等の付着の有無を確認し、トリミングの指導を行った。
- ・ 衛生検査終了後の枝肉の獣毛残存等の確認を行い、作業工程ごとの取扱いについて指導した
- ・ HACCP システムの検証における食肉の安全性を判断するための微生物等の検査として、対米輸出食肉を取り扱うと畜場等の認定要綱に基づき、牛枝肉のサルモネラ菌のふき取り検査を実施した（82 検体）

③ 一斉監視

【実施時期: 夏期食品一斉取締 平成 26 年 7 月、食品衛生月間 平成 26 年 8 月、食肉・食鳥肉取扱施設一斉監視(食肉衛生月間) 平成 26 年 10 月、年末食品一斉取締 平成 26 年 11 月】

- ・ 食中毒予防に係る啓発ポスターの掲示
- ・ 衛生講習会の実施
- ・ 衛生的な処理に係る啓発指導
- ・ 枝肉、内臓等の適正管理に係る啓発指導

【実績】

- ・ 食中毒予防啓発ポスターを施設内に掲示し、と畜場の従業員、関係者および来場者に対して啓発を実施した。
- ・ 作業従事者および食肉関係事業者に対して、食肉等の生食に係る啓発ポスターを施設内に掲示し、食肉等の生食の規制に対する啓発を実施した。

・ 衛生講習会の実施

- 「食中毒発生事例から考える食品取扱者としての衛生管理」「枝肉拭き取り検査結果について」(8月)
- 「と畜場法の一部改正について」「最近の衛生点検の結果より」(2月)

④ 食肉、食鳥肉取り扱い施設一斉監視の開催（食肉衛生月間）

【実施時期：平成 26 年 10 月】

- ・ と畜場等施設の重点監視
- ・ と畜解体作業従事者および関係業者に対する講習会開催への協力
- ・ 看板、パネル展示による啓発
- ・ 滋賀食肉センター等の関係事業者の取り組みへの協力

【実績】

- ・ と畜場における衛生作業マニュアル、衛生標準作業手順書(SSOP)に基づく処理の指導を行った。
- ・ 枝肉出庫時の衛生管理について指導を行った。
- ・ 枝肉のふき取り検査および作業従事者の手指のふき取り検査に基づく衛生的な処理の指導を行った。
- ・ 看板、パネル展示による啓発

第3. 各精密検査関係に関する具体的事項（詳細はIV章参照）

(1) 衛生的な作業の検証のための検査

調査の種類	検査項目	実績検体数
グリア繊維性酸性タンパク（中枢神経系組織の細胞マーカー）残留量調査	グリア繊維性酸性タンパク	80
と畜場における汚染実態調査	一般生菌数、大腸菌群数、腸管出血性大腸菌 0157	200
と畜場における微生物制御のモニタリング	一般生菌数、大腸菌群数、サルモネラ、真菌等	178

(2) 食肉中の残留有害物質の排除

種類	実績検体数
動物用医薬品に係る収去検査	牛 36
	豚 36
有機塩素系農薬に係る収去検査	牛 4
	豚 4

第4. 衛生講習会および意見交換会の開催

- (1) と畜場関係者の衛生意識の向上や環境整備等を目的とし、講習会や意見交換会等を実施

内容	実績（実施月）
と畜解体作業従事者等への衛生講習会および意見交換会	年2回（9、2月）
と畜場管理者、と畜場衛生管理責任者および作業衛生責任者等との業務調整会議	年12回（毎月実施）

- (2) 消費者および生産者・事業者との情報共有および相互理解を図るための取り組みとして保健所が主催する意見交換会に講師として参加

内容	実績（実施月）
「食の安全・安心に関する意見交換会」において食肉の安全性や生食の危険性などについて啓発を行った。	年2回（9、10月）